

nippn

●株主の皆様へ●

第201期

期末のご報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで



CONTENTS

社長インタビュー	1
トピックス	4
商品紹介	7
連結決算の状況	9
会社概要・株式の状況	10
裏表紙	
●定時株主総会 決議ご通知	
●株主のしおり	

証券コード：2001

株主の皆様へ

「第201期 期末のご報告」をお届けするにあたり、株主の皆様の平素のご支援に対し厚く御礼申し上げます。当社は2025年5月13日に「2024年度連結決算」を発表しました。2024年度の事業の概要と今後の見通しについてご説明いたします。

代表取締役社長

前鶴俊哉



社長インタビュー

2024年度の事業の概要と今後の展望

収益力の強化と持続的な企業価値の向上を目指す

Q この1年の事業環境を振り返ってみていかがでしたか？

A 当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善による内需の拡大やインバウンド需要の拡大により、緩やかに回復しました。一方で、円安基調で推移した為替相場の影響を受けた原材料価格およびエネルギー価格の高止まりや、物価上昇による消費者の節約志向の強まり、通商政策などアメリカの政策動向等、当社グループの経営環境に及ぼす影響について、注意を払う状況が続きました。このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング(幸せ・健康・笑顔)」を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、企業価値の持続的な向上に努めました。

Q 2024年度の業績について概要をお聞かせください。

A 2024年度の連結業績は、外食需要やインバウンド需要の拡大、昨年度および今年度を実施した価格改定、並びにマーケティング戦略の強化によるオーマイプレミアムブランドの販売数量伸長等により、売上高は4,108億7千8百万円(前期比102.6%)となりました。利益面では、各事業において人件費および物流費をはじめとした諸コストの増加があったものの、製粉事業・食品事業ともに販売数量の増加があったことにより、営業利益は214億8千6百万円(同105.6%)、経常利益は243億9千3百万円(同104.8%)、親会社株主に帰属する当期純利益は247億5千7百万円(同93.9%)となりました。売上高、営業利益、経常利益は過去最高を更新いたしましたが、当期純利益では法人税等の増加により減益となりました。

Q 「長期ビジョン2030」達成に向けた施策についてお聞かせください。

A 当社グループは、達成年度を2030年度とした長期ビジョン2030「ニッポングループは、総合食品企業として、食による社会課題の解決に挑み続けます」を定めております。

今般、長期ビジョンの達成や従業員のウェルビーイング実現に向け、経営戦略と人財戦略の連動を図るため「人財ビジョン」を策定しました。人財ビジョンを主軸として、従業員の創造性と多様性を育み、個人と組織双方の持続的な成長を目指します。

また、目標とする経済的価値を実現するために、冷凍食品事業と海外事業を注力事業と位置づけ、売上・利益の拡大に取り組みます。冷凍食品事業については、家庭用の米飯・ワンプレート商品および個食パスタ、業務用の外食向け商材等の売上拡大を図り、2030年までに売上高900億円/年を目指します。海外事業については、既存進出国において事業拡大を図る他、新規需要地域への販売拡大、クロスボーダーM&Aを含む積極的な投資等により、2030年までに売上高600億円/年を目指します。

Q 「2022-2026中期目標」の取り組み状況についてお聞かせください。

A 当社グループは、長期ビジョン2030で設定した売上高5,000億円・営業利益250億円を達成するためのマイルストーンとして、2026年度までに売上高4,500億円・営業利益210億円、ROE8%以上、ROIC5%以上の達成を目指す中期目標を策定しております。

当社は、中期目標達成をより確実なものとする具体的施策として、「マーケティング戦略の推進」および「生産拠点の新設・再配置」に取り組んでおります。

マーケティング戦略の推進に関しては、株式会社刀との協業を「人的投資」と位置づけ、組織改革を進めるとともに、オーマイプレミアムブランドを継続して成長させてまいりました。今後は徹底した「消費者起点のマーケティング」の業務用領域への展開を図り、ブランド認知のさらなる向上と収益拡大につなげてまいります。

生産拠点の新設・再配置に関しては、2026年2月に知多新工場の稼働を予定しており、収益基盤を強化してまいります。

2026年度末には、2025年4月に連結子会社化した株式会社畑中食品の新工場が竣工予定となっております。当社グループの冷凍食品工場では最大規模となり、冷凍食品市場における今後の需要拡大を見据えた供給体制の増強を図ってまいります。

2024年度 連結決算ハイライト

(2024年4月1日～2025年3月31日)

売上高	4,108億円 (前期比 102.6%)	1株当たり当期純利益	317.27円
営業利益	214億円 (前期比 105.6%)	総資産	3,992億円
経常利益	243億円 (前期比 104.8%)	純資産	2,464億円
親会社株主に帰属する当期純利益	247億円 (前期比 93.9%)	1株当たり純資産	3,102.27円

2025年度 通期予想

(2025年4月1日～2026年3月31日)

売上高	4,240億円 (前期比 103.2%)
営業利益	215億円 (前期比 100.1%)
経常利益	245億円 (前期比 100.4%)
親会社株主に帰属する当期純利益	202億円 (前期比 81.6%)

また、2026年10月には、「ニッポンR&Dセンター」への研究開発拠点移転を予定しています。オープンイノベーションを推進することで、新しい価値の創造を図ります。

海外では、2025年2月にUtah Flour Milling, LLCの工場が稼働しました。米国の既存2拠点とのシナジー創出により、海外事業のさらなる拡大を目指してまいります。

さらに当社は、2024年7月にベトナム現地法人であるNIPPON Vietnam Company Limitedを設立し、2027年にプレミックス新工場の稼働を予定しております。ベトナム市場での拡売・事業拡大を推進し、ASEAN域内での供給体制の強化を実現してまいります。

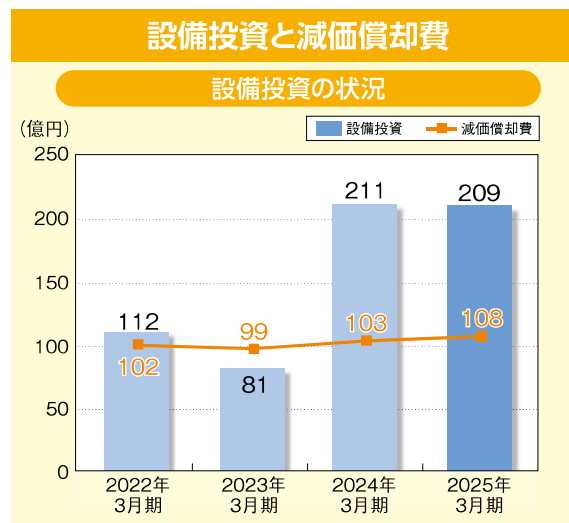
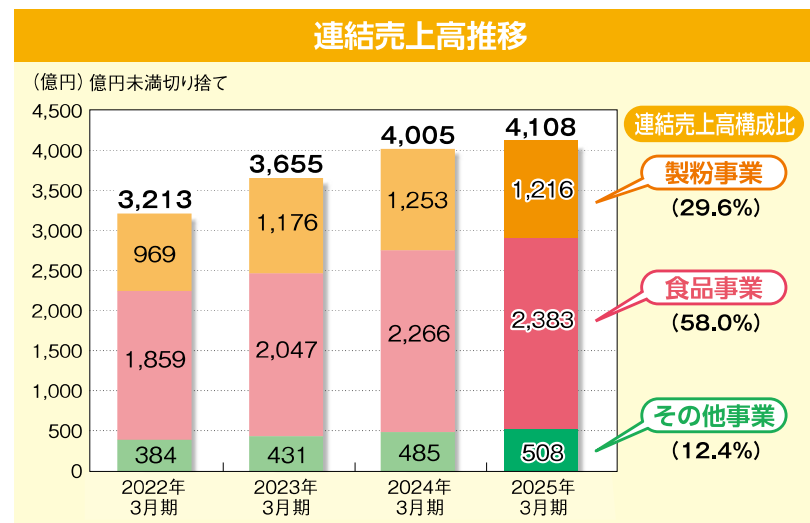
2025年度の通期連結業績について見通しをお聞かせください。

2025年度の通期連結業績は、消費者の需要が引き続き堅調に推移すると見込まれることから、売上高は4,240億円(前期比103.2%)を予想しております。また、利益面では、引き続き人件費や物流費、原材料費をはじめとした諸コストの増加、新工場稼働などに伴う

償却費負担増等が見込まれるものの、拡売に伴う販売数量伸長等により、営業利益は215億円(同100.1%)、経常利益は245億円(同100.4%)、親会社株主に帰属する当期純利益は202億円(同81.6%)を予想しており、売上高、営業利益、経常利益は過去最高(5期連続)を更新する見込みとなっております。

株主の皆様へのメッセージをお願いします。

世界的な地政学的緊張の中で、国内外の経済情勢は依然として先行き不透明な状態にあります。また、異常気象や自然災害が世界各地で頻発しており、社会環境の変化への対策や課題解決が急務となっています。このような不確実性の高い時代において、当社グループは総合食品企業として、社会課題やお客様心理を捉え、経済的価値の追求と社会的価値の創出を両立するための事業成長戦略と社会価値創造戦略を実行してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



トピックス

『株主様向け料理教室2025 in 東京』開催のお知らせ

受講料
無料

ご好評をいただいている株主様向け料理教室を、今回は東京にて「イタリアンクッキングセミナー」「ふっくらパン教室」それぞれ2回ずつ開催いたします。60名の株主様をご招待させていただきます。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

教室名	A.イタリアンクッキングセミナー	B.イタリアンクッキングセミナー	C.ふっくらパン教室	D.ふっくらパン教室
開催日時・定員	2025年9月9日(火) 11:30～14:00(開場11:10) 定員:各教室12名	2025年9月30日(火) 11:30～14:00(開場11:10) 定員:各教室12名	2025年9月5日(金) 12:30～16:00(開場12:10) 定員:各教室18名	2025年9月26日(金) 12:30～16:00(開場12:10) 定員:各教室18名
※会社説明のお時間も設けております。終了時間は多少前後する場合があります。				
講習内容	ニッポン商品を使用した料理のデモンストレーションと試食を行います。 ※実習はありません。 【予定メニュー】メニューは変更になる可能性があります。 ・アマニ入りゼッポリーネ ・鶏とたまねぎとじゃがいものオープン焼き ・きのこ入りペペロンチーノ ・海苔のクリームスパゲッティ ・バナナカスタード 		お1人様ずつ「あんぱん」を作ります。パン作りが初めての方でも、安心してご参加いただけます。 ※ご自身が作ったパンの一部をご試食いただけます。 	
開催場所	株式会社ニッポン本社(キッチン) 東京都千代田区麹町4-8 東京メトロ有楽町線「麹町駅」4番出口より徒歩1分 東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」より徒歩8分 JR中央線「四ツ谷駅」より徒歩10分 ※詳細は当社ホームページでご確認ください。 https://www.nippon.co.jp/hiroba/kitchen/images/nipponmap.pdf		ハッピークッキング 東京都千代田区神田錦町3-3 竹橋3-3ビル1階 竹橋駅(東京メトロ東西線)3b出口より徒歩4分 神保町駅(東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線・三田線)A9出口より徒歩4分 ※詳細はハッピークッキングホームページでご確認ください。 https://www.happycooking.jp/	
持ち物	筆記用具		エプロン・手ふき・筆記用具・お持ち帰り用の袋	

応募締切 2025年7月22日(火) 必着 ※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

応募結果 2025年8月14日(木)までに当選者の方へ受講票をお送りいたします。

※当選の結果は受講票の発送をもって代えさせていただきます。

問合せ先 株式会社 ニッポン IR室 03-3511-5316(平日 9:00 ~ 17:00)

- 注意事項
- 1枚のはがきにつき、応募券1枚をお貼りください。
 - 開催場所までの往復交通費はご負担ください。
 - 駐車場はございません(公共交通機関をご利用ください)。
 - 株主様以外のご応募はご遠慮ください。
 - お子様のご同伴はご遠慮ください。
 - ホームページやお電話でのお申込みはできません。
 - 当日は、会場内の様子を写真撮影いたします。弊社ホームページや「株主の皆様へ」などで使用させていただく予定です。予めご了承ください。



「オーマイ」誕生70周年

Oh'my HISTORY

ニッポンのパスタ・パスタソースのブランド「オーマイ」が、誕生70周年を迎えました。ブランド名に込められた意味や歴史をご紹介します。

オーマイブランドの誕生

戦後、日本では食糧難を解消するために、不足している米の代替品として小麦やとうもろこしを原料とした人造米が作られるようになりました。製造設備や使用原料にこだわり、「世界水準を抜く!」というキャッチフレーズがついた当社の人造米は、小麦粉のみを使用した最高品質なお米を象徴して、お米のなかの王様、つまり「王米」であることから「オーマイ」の商標が考案されました。



国産パスタの先駆け オーマイマカロニ

昭和30年代に入ると米不足も解消され、オーマイの主力商品は人造米からマカロニにシフト。発売当初はまだパスタの食文化が日本には定着していなかった時代で、まずはマカロニのゆで方、食べ方からのPRが必要でした。宣伝カーや料理講習会などの地道な営業活動の結果、学校や病院などの給食メニューにマカロニサラダが登場し、日本の食卓に瞬く間にマカロニが浸透、定着していきました。

時代に即応したおいしく、便利で、そして楽しい「食」を目指して

以来半世紀、ライフスタイル、食生活の変遷に呼応し、マカロニのほか後に販売を開始したスパゲッティとともに、オーマイブランドは国産パスタの代名詞となりました。現在ではパスタだけでなくパスタソースなどの関連商品や、冷凍食品なども、オーマイブランドのもと、広く皆様にご愛顧いただいています。オーマイブランドはこれからも、その時々求められるおいしく、便利で、楽しい「食」をご提供し続けていきます。



未来への投資 拠点の新設・再配置

基盤領域の収益力強化

知多工場の建設



2023年に着工した愛知県・知多新工場は2026年2月に稼働予定であり、大型穀物船が接岸できる立地により原材料調達コストの削減が可能となります。また、最新の自動化技術やDXの活用によるスマートファクトリー化を推進し、収益基盤を強化することを目指しています。

さらに、自然災害に強く、BCPやSDGsに配慮した最先端の製粉工場の設立を目指しています。

R&D・サステナビリティ

「ニッポンR&Dセンター」への研究開発拠点移転



研究開発拠点を現在の神奈川県厚木市から神奈川県横浜市都筑区に移転します。新拠点での事業開始は2026年10月を予定。研究員がオープンマインドを持って、社内外と積極的に交流することで、様々な「Collaboration」が生まれる「Laboratory」を目指し、「Open Collaboration-未来へつづく、新しい食の共創空間」をコンセプトにした拠点づくりに取り組みます。

成長領域への戦略投資

(株)畑中食品に冷凍食品の新工場を建設



鹿児島県出水市における新工場の竣工は2026年度末を予定しています。製造能力は当社およびグループ会社の冷凍食品工場において、食数換算で最大規模となる予定です。また、自動化技術を導入しさらなる省力化を推進していきます。

当社グループは2022-2026中期目標の成長領域の一つである、冷凍食品事業の供給体制をさらに強化していきます。

2025年春夏新商品のご紹介

もっと便利に、もっとおいしく！ お客様のニーズに寄り添う新商品をご紹介します。

グロサリー

◆ニッポン めちゃラク シリーズ



簡単に楽しくお菓子作りができる、「めちゃラク」シリーズを一新し、中身もパッケージもパワーアップしました。食感や風味などを改良しおいしさを追求しつつも、お菓子作りのハードルを下げるために材料・器具、準備、工程、片付けなどの視点から、めちゃラクを追求しました。



開発担当
マーケティング本部
商品開発部
木村 滯

「クッキーミックス」「ホットケーキミックス」「レンジでクレープミックス」「レンジケーキミックス」の4品の配合を変更し、よりおいしい食感になるよう仕上げています。同時にパッケージも刷新しました。共通のクラフト紙風のデザインにメニュー写真を大きく載せることで、よりおいしさが伝わりやすくなり、袋の形状や材質も見直して、さらに作りやすくなりました。新しい「ニッポン めちゃラク」シリーズをぜひお試しください。

◆オーマイ 濃いあえるパスタソース 海老トマトクリーム

「おいしさにつながる濃厚な味わい」を表現した濃いあえるパスタソース(2食入り)は、ゆでたパスタにあえるだけで濃厚なおいしさをお楽しみいただけます。海老の甘みとコクをたっぷり感じる贅沢な味わいの、口当たりまろやかなソースです。一目でおいしさを伝えるパッケージにもご注目ください。



開発担当
開発本部
食品開発部
高西 寿洋

フランス料理でよく使用されるアメリカヌソース(海老の殻にトマト、ワイン、香味野菜等を入れて煮込み、こして作ったソース)を使用することで、濃厚な海老の旨みたっぷりのコクや風味が楽しめる商品に仕上げました。隠し味として蝦醤*を入れることで、海老独特の香りも強調されて「濃い」ソースになっています。ぜひ手に取ってお試しください。 ※小海老を塩漬にして発酵させた調味料

冷凍食品

◆オーマイプレミアム 至極のボンゴレ



最上級のおいしさ*を味わえる「オーマイプレミアム 至極」シリーズは、贅沢に使用した具材がもたらす“さらなるおいしさ”を追求しています。シリーズ初となる期間限定販売商品が新登場しました。 ※当社オーマイプレミアムシリーズ中の比較



開発担当
マーケティング本部
商品開発部
増田 千紗

具材を贅沢に楽しめるボンゴレビアンコです。たっぷりのあざりはもちろん、今回は小柱を使用し、この商品ならではの贅沢感を表現しました。また、シャルドネワインを使用し、爽やかさがあがりながらもコク深い味わいになるようにこだわりました。店頭で見かけた際は、手に取っていただけたらうれしいです。

◆ニッポン いまどきごはん 彩りスープカレー



人気の外食のメニューや、家庭では作りにくいメニューも、「いまどきごはん」シリーズを使えばチンするだけで簡単に本格的な味をお楽しみいただけます。13種のスパイスを使用した香り豊かで本格的なスープカレーが新登場しました。



縁の下の力持ちが支える、新商品ができるまでの舞台裏

生産・技術本部 生産技術第1部
包装技術チームマネージャー 岩崎 良輔

お客様に商品のおいしさやコンセプトを十分に楽しんでいただくために、「最適な包装」を実現することが当チームの役割です。社内外の組織と連携して商品の魅力を最大限に引き出せる包装を追求しています。「いまどきごはん」シリーズの新商品に採用されている新モールドトレイは、利便性や環境配慮といった外部ニーズと、生産工程適性や商品開発のしやすさ等の内部ニーズにも応えることを目標として素材・製法・形状にこだわり、サプライヤーとゼロから共同開発しました。開発部門や生産工場の頑張りもしっかり包んで、お客様にお届けできれば幸いです。

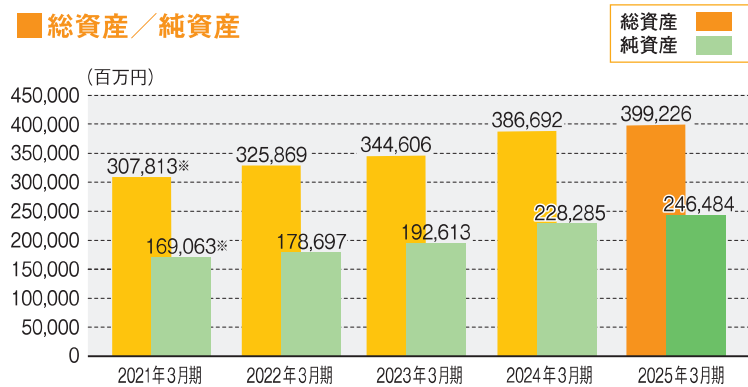
環境に配慮した
新モールドトレイ



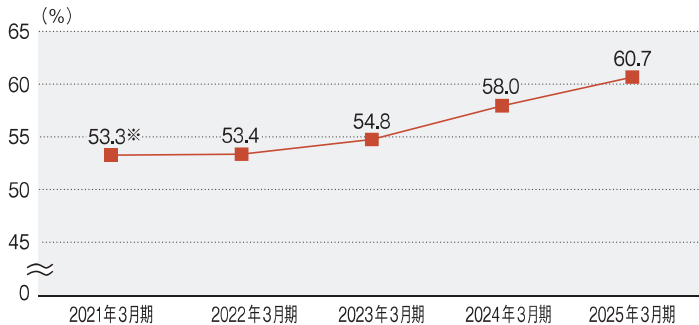
●詳しい情報は、ホームページをご覧ください。 <https://www.nippn.co.jp/ir/>

連結決算の状況

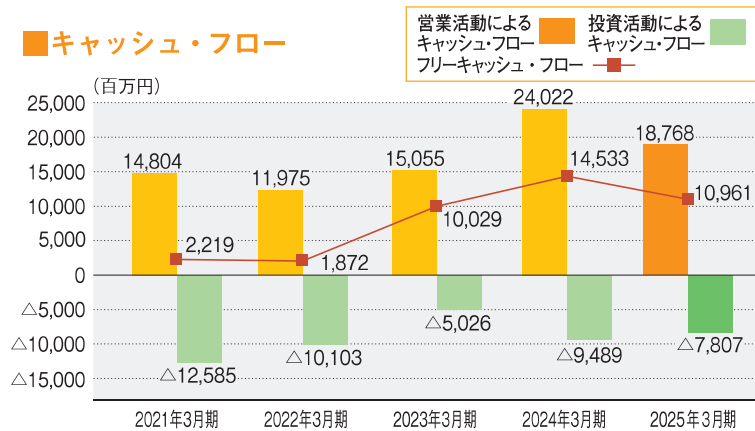
総資産／純資産



自己資本比率

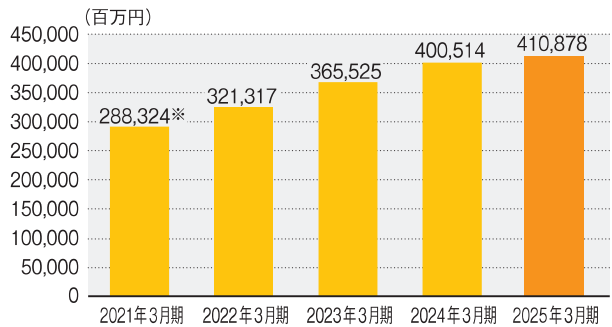


キャッシュ・フロー

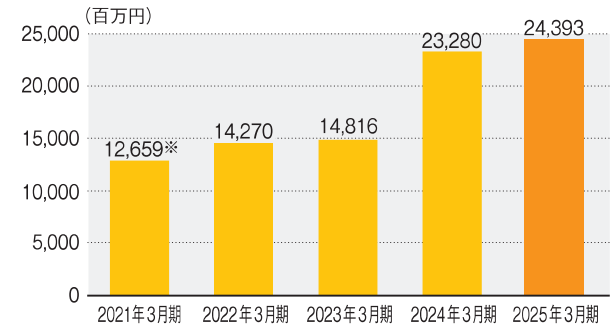


※ 2021年3月期の各数値は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値となっております。

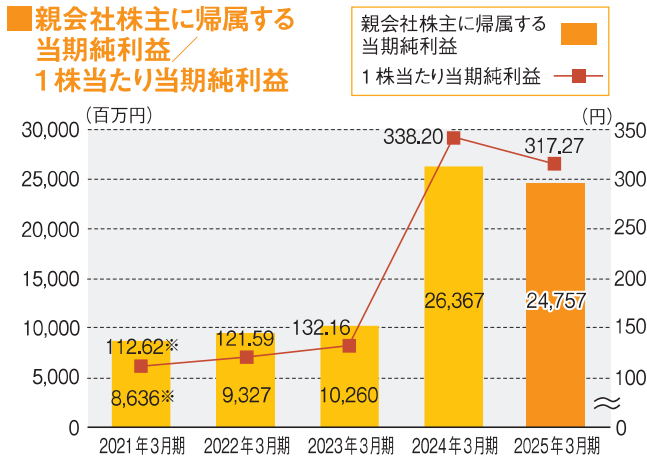
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



(2025年3月31日現在)

会社概要

社名	株式会社 ニッポン
本店所在地	東京都千代田区麹町四丁目8番地
設立	1896年(明治29年)12月
資本金	122.4億円
従業員	1,210名[単体]
主な事業内容	小麦粉およびプレミックス、パスタ、冷凍食品など二次加工食品の製造販売、中食・総菜事業、ペットフード事業、ヘルスケア事業、バイオ関連事業など
事業所	本店(東京)、9支店、10工場、研究所(厚木)

主なグループ会社

松屋製粉株式会社	ニッポン商事株式会社
オーマイ株式会社	日本リッチ株式会社
株式会社ファーストフーズ	オーケー食品工業株式会社
株式会社ナガノマト	エヌピーエフジャパン株式会社
ニッポンドーナツ株式会社	ニッポンエンジニアリング株式会社
海外(米国、中国、タイ、インドネシア、ベトナム)	

(2025年3月31日現在)

株式の状況

●発行可能株式総数	300,000,000株
●発行済株式総数	78,824,009株
●総株主数	44,491名
●大株主の状況	

大株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,554	9.6
ニッポン取引先持株会	4,429	5.6
大樹生命保険株式会社	3,497	4.5
株式会社ダスキン	2,510	3.2
三井物産株式会社	2,350	3.0
株式会社三井住友銀行	2,246	2.9
農林中央金庫	2,060	2.6
三井住友海上火災保険株式会社	1,879	2.4
さぬき丸一製麺株式会社	1,755	2.2
東洋水産株式会社	1,697	2.2

(注) 持株比率は、自己株式391千株を控除して計算しております。

(2025年6月27日現在)

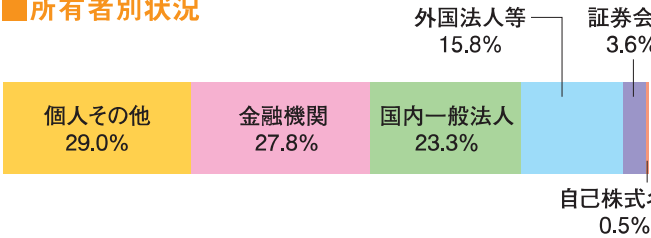
役員

代表取締役社長	社長執行役員	前 鶴 俊 哉
代表取締役	専務執行役員	木 村 富 雄
取締役	常務執行役員	川 崎 裕 章
取締役	常務執行役員	小 浦 浩 司
取締役	常務執行役員	大田尾 亨
取締役	常務執行役員	阿 部 直 樹
取締役	(社外取締役)	川 俣 尚 高
取締役	(社外取締役)	熊 谷 日登美
取締役	(社外取締役)	高 岡 美 佳
【監査等委員である取締役】		
取締役		青 沼 孝 明
取締役	(社外取締役)	吉 田 和 彦
取締役	(社外取締役)	葉 山 良 子

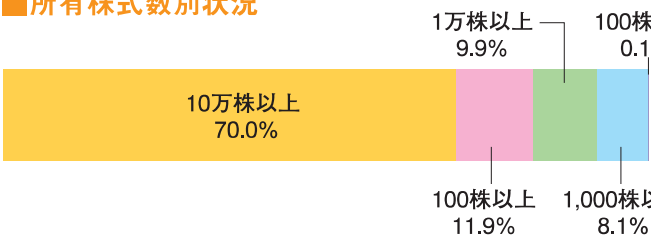
上席執行役員	飛 鷹 裕 之
上席執行役員	林 逸 郎
上席執行役員	是 松 雅 彦
上席執行役員	池 尾 良
上席執行役員	佐 藤 高 宏
執行役員	間 和 彦
執行役員	品 川 剛
執行役員	中 村 保 司
執行役員	藤 原 武 弘
執行役員	曾 我 時 久
執行役員	横 尾 信 博
執行役員	村 瀬 康 彦
執行役員	梶 谷 武 志
執行役員	篠 山 康 司
執行役員	富 沢 英 樹

株式の分布状況

所有者別状況



所有株式数別状況



第201回定時株主総会 決議ご通知

2025年6月27日開催の当社第201回定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

1. 第201期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第201期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は上記の各内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金処分の件

本件は原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき33円と決定いたしました。

第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)9名選任の件

本件は原案のとおり承認可決され、取締役(監査等委員である取締役を除く。)に前鶴俊哉、木村富雄、川崎裕章、小浦浩司、大田尾亨、阿部直樹、川俣尚高、熊谷日登美及び高岡美佳の9氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、川俣尚高、熊谷日登美及び高岡美佳の3氏は社外取締役であります。

第3号議案 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件

本件は原案のとおり承認可決され、補欠の監査等委員である取締役に成瀬健太郎氏が選任されました。なお、同氏は補欠の監査等委員である社外取締役として選任されたものであります。

以上

株主優待のお知らせ

2025年3月期より株主優待制度に「寄付」を追加いたしました。「自社商品詰め合わせ」もしくは「社会貢献団体への寄付」から一つお選びいただけます。

詳しくは「定時株主総会招集ご通知」に同封いたしました「株主優待のお知らせ」をご確認のうえ、**7月31日(木)【必着】までに**[お申込みください](#)。お申込みがなかった株主様につきましては、すべて「寄付」扱いとさせていただきますので、ご注意ください。

●ニッポン株主優待お問い合わせ窓口

電話番号 0120-887-277 (受付時間 9:00~17:00 (土日祝日を除く))

株主のしおり

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の 口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページ	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

nippon

株式会社 ニッポン

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目8番地 TEL.03-3511-5301 (代表)

ホームページ <https://www.nippon.co.jp/>

